

西部教育事務所は、今年度も学校教育活動の活性化や充実に向けて、学校や先生方をサポートします。今年度より、地域行事や学校行事が盛んに行われるようになりました。新しく赴任した方、若手や初任者の先生方の中には、日々の業務に追われる日が続いているのではないのでしょうか。今年度は「初任者サポート」として、初任者の方を中心に若手の支援にも力を入れていきます。

学校の先生方の実践や取組についてお知らせします！

西部教育事務所「WEST」を通じて、これまで西部管内の学校や先生方の実践をお伝えしてきました。今年度は、「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブックをより具体的に実践されている事柄を挙げて紹介していきます。

白石町立須古小学校：児童の興味・関心を引き出す鑑賞の工夫 図画工作：「アートを読み取る名探偵になろう！」 井手美和教諭



【授業の概要】

導入では、前時で行ったアート・カードゲームを想起し、形や色、イメージなど、児童から出た造形的な特徴を振り返ります。展開では、学校の風景や造形物に目を向け、1人1台端末を使って写真を撮り、ペアでよさや美しさを見付ける内容となっています。

視覚的に捉えやすいように、形・色・イメージの言葉を、【形】青の付箋、【色】ピンクの付箋、【イメージ】黄色の付箋で分類・整理されています。



興味・関心を引き出すポイント！

- 【ポイント①】 児童の慣れ親しむ学校に視点をおくことで、様々なことをイメージしやすくなる。
- 【ポイント②】 どのような言葉を使えばよいか、既習事項を活用して示している。
- 【ポイント③】 自分で撮影する対象を自由に選ぶことができ、何度も試すことができる。



【このような手立てがあると…】

- ・児童がよく知る場所だけに、自信を持って選んだ場所を友達に話すようになる。
- ・児童の慣れ親しむ学校を用いることで、様々な場所で経験したことをもとに話し合うことができる。

詳しくは…

P9 「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブック【別冊資料】より
・授業を学びにするための教師の役割 Q&A の「つかむ」で、課題をイメージしやすくなるための ICT 活用につながります。 →

